

消化器疾患の救急診療における最重症例の拾い上げを目的としたコホート研究

1. 研究の対象

2013年4月1日以降に当院で消化器の急性期疾患（消化管出血や急性胆管炎、胆嚢炎、虫垂炎など）と診断され治療された方

研究実施期間：研究機関の長の許可日 ～ 2028年3月31日まで

2. 研究目的・方法

消化器領域は胆道、膵臓、肝臓、食道、胃、小腸、大腸と広範囲であり、致命的な転機となりえる急性期疾患も非常に多い領域です。急性胆管炎や胆嚢炎、肝膿瘍、虫垂炎などの細菌感染では、ドレナージや手術による早急な対応が必要になります。また、消化管出血や腹腔内出血では緊急内視鏡やカテーテル塞栓術や手術といった手法で対処します。その他、腸閉塞やS上結腸捻転なども早急な対応が行われないことで腸管穿孔や壊死から致命的な転機となりえます。

このような患者は昼夜を問わず受診されますが、病状の重さを正確に把握し、適切なタイミングで治療が行われる必要があります。消化器の急性期疾患は非常に多岐にわたりますが、疾患ごとの予後予測因子を解明することにより、最重症例を正確かつ速やかに拾い上げ、適切な治療介入を行うことこそが消化器における急性疾患患者の予後改善に寄与するものと考えられます。

このため、本研究では消化器救急患者の診断、初診時バイタル所見や血液検査、画像検査データ、治療、治療後経過などのデータを診療録から取得し、後方視的および前向きに追跡し、疾患ごとの増悪や死亡に関連したリスク因子を解析することを目的とする。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、併存疾患、重症化の有無、治療方法、CT、MRI、腹部超音波検査及び内視鏡検査所見血液検査データなど

4. 情報を利用する者の範囲

山梨県立中央病院 消化器内科 廣瀬 純穂 他
消化器内科 医師 10名

5. 情報管理責任者

山梨県立中央病院 消化器内科 廣瀬 純穂

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんまたは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

山梨県立中央病院 消化器内科 廣瀬純穂（研究責任者）

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）